

お 泉 水

2006年3月

■平成17年度全国公共図書館総合・経営部門研究集会

11月10日・11日の両日、神戸市において「新時代の図書館経営」－市民は図書館に何を求めているか－をテーマに全国公共図書館総合・経営部門研究集会が開催された。

一日目は国立情報学研究所教授高野明彦氏による基調講演「『連想する場』としての公共図書館リファレンス」が実演をまじえて行われた。事例発表は①「図書館への指定管理者制度導入の経緯とその後の状況」北九州市立中央図書館、②「PFI手法による図書館、その1年」桑名市教育委員会、③「公共図書館経営の一視座－情報化と連携」市川中央図書館の3件であった。特に①②の関心が高く、会場に入りきれないほど参加者が集まり、質疑応答もこの2件に集中した。

二日目の全体会では①「岡山県立図書館の特徴」岡山県立図書館、②「田原市における図書館建設と運営」田原市図書館、③「私たちの図書館運営－山陰の小さな町での試み」斐川町立図書館の3人がパネラーとして発表した後、パネルディスカッションが行われ、広報の仕方やモチベーション維持の方法、そして指定管理者制度や委託などについて意見が交わされた。

(福井県立図書館若狭図書学習センター 倉谷 さちよ)

■平成17年度東海北陸地区研究集会

～情報提供機能の充実に向けた

図書館の取り組みについて～

日図協理事、常世田良氏の基調講演は「課題解決型図書館へ向けて」と題し「自己判断自己責任」型社会における図書館の役割を考えようという内容であった。

情報があふれる中、情報が一方通行だったり偏ったりして情報弱者が生まれており、専門知識が必要なときに判断材料の情報を欠くことが多い。図書館は市民にとってどこよりも利用しやすい公共施設であり、情報収集の場である。これからの図書館は、ビジネス支援・医療・法律など、専門情報と自己判断の隙間が生じやすい分野についての情報提供に努めるとともに、市民がもっと活用できる場としての環境を整備していくべきだ。

特徴や経営状況は各図書館で異なり、全ての専門サービスを行うのは難しい。人、資料が不足する現状で市民が求める情報に対応するには、職員がレファレンスツールを蓄積し活用する努力と工夫が必要と思う。

事例発表では「県立図書館の情報提供のあり方」「学校との連携」「地域資料の収集と学習活動」について、現状と課題が述べられた。各図書館ではそれぞれの特徴を活かし、地域との連携による事業展開に努力されている。

(大野市図書館 岸田 りえ子)

■平成17年度全国公共図書館サービス部門研究集会

「図書館よ情報社会の渦となれ!!」と題し、全国公共図書館サービス部門研究集会が10月6日・7日に徳島県郷土文化会館で開催された。

1日目は小田光宏氏による基調講演「図書館サービスの新たなモデルづくりを目指して」が行われた。すぐには真似できない付加価値のある人的サービスとして、専門的業務の位置づけやPR、レファレンスカウンターの重要性を強く訴えていた。

その後、「岐阜県図書館のIT化推進と新図書館の状況」「大阪市立図書館のWebによるサービス」「国立国会図書館レファレンス協同データベース事業」について事例発表が行われた。大阪市立図書館の全館オンライン化一体運用についての実情を聞くことができた。また、新しい試みであるレファレンス協同データベース事業について、興味深い話を聞くことができた。

2日目は日本図書館協会事務局長 松岡要氏による情勢報告、全体協議で幕を閉じた。利用者と図書館の双方に利用しやすい環境を作っていくかなければならないと強く感じる研究集会だった。

(福井市立図書館 舟澤 園恵)

■平成17年度日本図書館協会地方講習会

～「図書館のサービス評価」～

普段、日常の業務に追われて、「図書館のサービスとは何か？またどうあるべきか？」ということを考えている余裕がなかなかないが、やはりきちんと考えていかなければいけないことだと思う。図書館の指定管理者制度の導入が話題になっている昨今、「導入することで図書館サービスが今よりも良くなっていくのか？」ということを考えるうえでも、「図書館のサービス評価」をすることは必要なことだと感じた。図書館の必要なサービスとして、良いサービスを実現することなどが挙げられていたが、「良いサービスとは何か？」ということを考える場合でも、サービスの評価が必要になってくる。

「利用者および利害関係者に十分な価値を提供できているのか？」「提供するためには、現状はどうか？」「問題点はどこにあるのか？」といった点について評価を行い、より良いサービスが提供できるようにしていかななくてはならない。様々な評価方法が考えられるが、やはり利用者（現在の利用者だけでなく、非利用者も含める）に聞くことがサービスの良し悪しをつかむ手がかりになるのではないかと思う。

(丸岡町民図書館 島津 久美子)

■2005年度京都地区協議会研修大会の開催

本館は、昭和41年より、四年制私立大学図書館の全国組織である私立大学図書館協会（加盟校現在486校）に加盟し、その西地区部会京都地区協議会（京都・奈良・滋賀・福井・石川・富山の6府県40校）に所属して相互協力の活動を行っている。

その協議会内で、本館は、平成14年度より理事校（会長校）、幹事校等の役職についている。平成17年10月21日には、協議会が現在行っている4種の研修会・研究会の中で最も大きな研修会である京都地区協議会研修大会を、本学のFUTタワー15階会議室（午前）および大本山永平寺（午後）を会場にして開催した。

研修会の内容は、「日本の伝統文化と禅」のテーマの下に、花園大学国際禅学研究所教授（副所長）芳澤勝弘先生による講演「禅画に見る禅文化の精神—国宝『瓢鮎図』の謎—」、永平寺布教部長遠藤長悦老師による法話「仏教における『三昧』について」及び永平寺見学であった。

研修会の目的は、日本の伝統文化、「芸道」をその根本の禅仏教から理解しようとするものであったが、その目的は力及ばず十分には果たせなかったように思う。当日は協議会内の17大学から27名の参加者があったが、参加者には研修会とともに秋の福井を十分に楽しんでいただけたものと思っている。

（福井工業大学図書館 銚之原 善章）

■平成17年度児童文学連続講座 ～国際子ども図書館所蔵資料を使って

平成17年10月17日から19日までの3日間、国際子ども図書館において児童文学連続講座が開催された。参加者は67名で、本県からは2名が参加した。

「日本児童文学の流れ」を総合テーマに、時代の特徴やジャンルによる6つのテーマの講義を受講し、日本児童文学の歩みを学んだ。また、国際子ども図書館職員による同館所蔵資料を使っての3講義と、同館の施設見学も行われた。

講義は、戦後の1945～1975年（子どもの文学の新周期）の新しい流れに始まり、十五年戦争期の絵本、童話の系譜、タブーの崩壊とヤングアダルト文学、日本のファンタジー、エンターテインメントの変遷、と戦後の日本児童文学の流れにそって行われ、十五年戦争期における良質の絵本（スライド）や縮緬本（現物）等の、貴重な資料に触れる機会にも恵まれた。

戦後の紙の質が悪い時期、「子どものために」という情熱により、文学的な翻訳・デザインの優れた絵・面白い創作が生まれたことや、戦時色が強い時期にも、絵本の中には子どもたちの生き生きとした生活の様子が描かれていること等も知りえた。日本児童文学の通史について勉強してから参加すべきであったとの反省点もあるが、有意義な機会であった。

（福井県立図書館 保田 弘子）

■平成17年度図書館司書専門講座

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター（上野）において、全国から65名の図書館員が集まり10日間にわたり研修を受けた。

「図書館評価」、「指定管理者制度」、「地域の情報拠点としての図書館」などといったように、図書館の現状を考える上で、とても参考になる体系的なプログラムが組まれていた。全国の動向や最新の事例を交えながらの講義はどれも非常に刺激的であった。

また国会図書館のレファレンス協同データベースを使った演習形式の講義は、自館のレファレンス機能を強化するためのヒントを得ることができた。グループワークでは、1日半かけて他県の図書館員とともに苦勞しながら「図書館サービス計画の企画・立案」を作成し、実務に即した有意義な経験となった。

どの先生方も強く言われていたのは、利用者を待っているだけでは図書館は生き残れないということ、魅力ある図書館作りを目指し、図書館資料と利用者を結ぶための工夫と努力を継続して行うべきということであった。

全国各地で日々業務に取り組んでいる図書館員の方々と、深い人的ネットワークを持つことができたことも大きな成果であった。研修後はメーリングリストを立ち上げて情報交換をし、そこから新たな刺激を受けている。

（福井県立図書館 井藤 久美）

■平成17年度福井県図書館関係職員研修会 ～グループワークを通して

今研修は館種を超えた連携をテーマに、富山短期大学の参納哲郎氏を講師に迎え、講義およびグループワークを実施した。

今回は、当協会主催の研修で初めてグループワークを行い、各々が希望したテーマについて討議・発表することを通じて、参加者の交流を図った。

グループワークをすることにより、今後、館種の違いを超えた協力体制を構築していく上での一助となったことが今研修の成果である。

今後も県内図書館の振興を図り、会員間における一層の相互理解・相互協力が推進できる事業を展開していきたい。

（福井県図書館協会 事務局）





■東海北陸地区図書館地区別研修から得たこと

東海北陸地区図書館地区別研修を受講するのは今回で二度目である。前回の受講は同じく福井県で開催された平成11年度研修であった。6年の年月、世の中の流れと共に図書館の直面する課題も変化したのは確かである。デジタルネットワーク時代の到来による著作権の諸問題に始まり、情報活用支援サービス、ビジネス支援サービスの展開、そして指定管理者制度の導入問題と多種多様なテーマが設定されていた。

しかし、図書館が果たすべき基本的役割については、大きく変化していないように思える。自治体や地域の大小に関わらず、読書欲を満たそうとする利用者はもちろん、趣味や学習、ビジネス（または地場産業）に必要な情報を得ようとする利用者もいるはずである。そのような人たちが、図書館を繰り返し利用するような地域図書館づくりを目指すこと。これが今回の研修を受講して明確になった、私のこれからの目標である。
(池田町立図書館 飯田 眞佐子)

■「研修成果の活用方策について」

図書館には数多くの資料が利用者に使ってもらおうのを待っている。電子ジャーナルや情報検索のようにPC一つでできるものから書架に鎮座しているものまで様々である。仁上講師の「講義演習パスファインダー」は、図書館の広報も、情報検索も、展示も一度に出来てしまう優れたものだった。研修報告をすると「一人が一枚パスファインダーを作り、展示をより魅力的にする事を目標とする」ことが決まった。どんなに素晴らしいものを揃えていても利用がないともったいない。図書館の司書としてプライドをもってすべき仕事のひとつだと思う。

利用者第一に対応する事は昔も今も変わらないが、「知っているつもり」の私達が「知らなかった」という事を知る為に講師の方々から学び、利用者へ還元していくのは当然の事である。利用者には正職員も非常勤職員も同じ「図書館の人」なのだから。私の理想の図書館員は「瞬時に問題点を明らかにし、的確で丁寧なサービス提供と笑顔」である。利用者にとって居心地の良い場所（ソフト面もハード面も）にするのが一番なのではないかと改めて思った研修だった。

(福井大学附属図書館 五十嵐 香織)

《平成17年度福井県学校図書館協議会この一年》

5月16日(月)	第1回県学校図書館協議会役員会
5月27日(金)	第15回全国学校図書館協議会総会
6月10日(金)	第1回県学校図書館協議会理事会
7月7日(水)	第2回県学校図書館協議会役員会
8月4日(木) ～5日(金)	第39回近畿学校図書館研究大会 於 奈良県奈良市
8月11日(木) ～12日(金)	第14回学校図書館夏期セミナー 於 福島県郡山市
9月21日(水)	県学校図書館研究大会実行委員会
10月20日(木)	第37回福井県学校図書館研究大会 於 小浜市
2月2日(木)	第16回全国学校図書館協議会総会 都道府県SLA事務局長会議
2月20日(月)	『福井県の学校図書館第51号』発刊
2月21日(火)	第3回県学校図書館協議会役員会
4月～9月	第31回県小学生読書感想文コンクール (福井新聞社主催)
6月～10月	第51回青少年読書感想文全国コンクール (全国SLA・毎日新聞社主催)
9月～1月	第17回読書感想画中央コンクール (全国SLA・毎日新聞社主催)

(福井県学校図書館協議会事務局 武田 純一)

《平成18年度研究集会および研修会等日程(予定)》

名 称	開催地	期 間
全国図書館大会	岡山県岡山市	2006年 10月26・27日
全国公共図書館研究集会 サービス部門	山梨県甲府市	2006年 10月5・6日
全国公共図書館研究集会 児童・青少年部門	北海道札幌市	2006年 10月19・20日
全国公共図書館研究集会 総合・経営部門	山口県山口市	2007年 1月18・19日
日本図書館協会地方講習会	富山県	未 定
東海北陸地区公共図書館 地区別研修	三重県	未 定
東海北陸地区公共図書館 研究集会	福井県	未 定

平成17年度県外研修参加状況

研修名	開催日	場所	図書館名
平成17年度北陸公共図書館 コンピュータ化推進協議会研修会	4/26	石川県	福井県立図書館 松岡町立図書館
平成17年度図書館司書専門講座	6/13～6/24	東京都	福井県立図書館
平成17年度中部ブロック点字図書館 点字ボランティア研修会	6/24	愛知県	福井県視覚障害者福祉協会情報 提供センター
第39回近畿学校図書館研究大会	8/4～8/5	奈良県	春江工業高等学校他27校
第14回学校図書館夏期セミナー	8/11～8/12	福島県	春江工業高等学校
第66回私立大学図書館協会総会・研究集会	8/25～8/26	愛媛県	福井工業大学図書館
平成17年度私立短期大学図書館 情報担当者研修会	9/29～9/30	東京都	仁愛女子短期大学附属図書館
2005年度私立大学図書館協会 西地区部会研究会	9/30	愛知県	福井工業大学図書館 仁愛大学附属図書館
平成17年度全国公共図書館 サービス部門研究集会	10/6～10/7	徳島県	若狭図書学習センター 福井市立図書館 丸岡町民図書館
平成17年度東海北陸地区研究集会	10/12～10/13	岐阜県	福井県立図書館 若狭図書学習センター 大野市図書館 丸岡町民図書館 清水町立図書館
平成17年度国立国会図書館国際こども図書館 児童文学連続講座	10/17～10/19	東京都	福井県立図書館 若狭図書学習センター
平成17年度中部地区学校図書館活用フォーラム	10/20～10/21	和歌山県	若狭高等学校他3校 永平寺町立図書館
平成17年度全国公共図書館 総合・経営部門研究集会	11/10～11/11	兵庫県	若狭図書学習センター 福井市立みどり図書館 大野市図書館 丸岡町民図書館
平成17年度中部ブロック点字図書館 点訳担当職員研修会	11/10～11/11	愛知県	福井県視覚障害者福祉協会情報 提供センター
平成17年度中部ブロック点字図書館 音訳担当職員研修会	11/10～11/11	愛知県	福井県視覚障害者福祉協会情報 提供センター
平成17年度学術情報リテラシー教育担当者研修	11/16～11/18	大阪府	仁愛大学附属図書館
平成17年度科学技術資料研修	11/17～11/18	東京都	福井県立図書館
日本図書館協会地方講習会	12/2	三重県	丸岡町民図書館
平成17年度大学図書館 近畿イニシアティブ初任者研修	12/8～12/9	大阪府	仁愛大学附属図書館
2005年度私立大学図書館協会京都地区協議会 相互協力連絡会研修会	1/19	京都府	福井工業大学図書館
第2回レファレンス協同データベース 事業参加館フォーラム	2/24	京都府	福井県立図書館